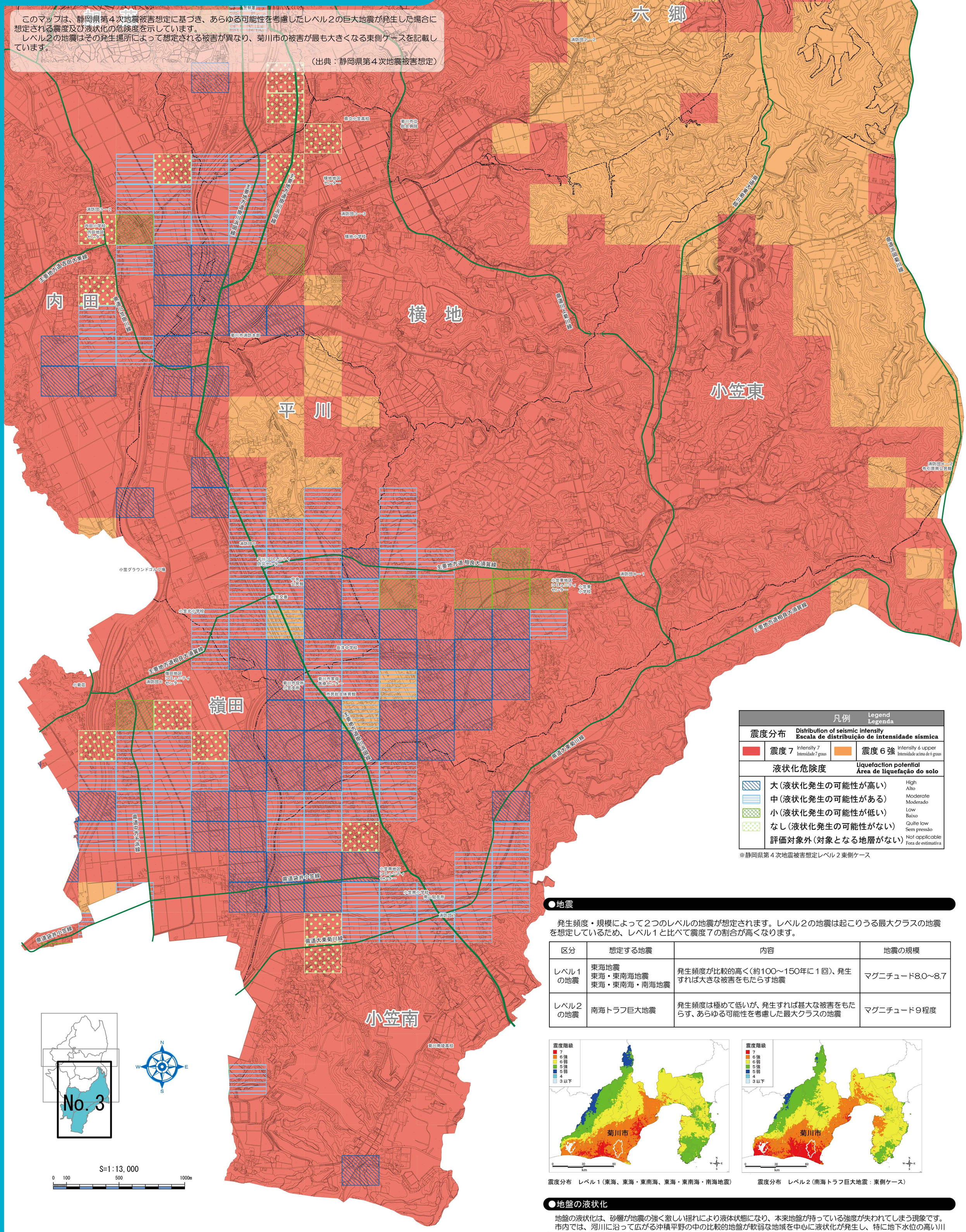
菊川市ハザードマップ
震度分布/液状化危険度

平川・嶺田・小笠東・小笠南

このマップは、静岡県第４次地震被害想定に基づき、あらゆる可能性を考慮したレベル２の巨大地震が発生した場合に想定される震度及び液状化の危険度を示しています。
レベル２の地震はその発生場所によって想定される被害が異なり、菊川市の被害が最も大きくなる東側ケースを記載しています。

（出典：静岡県第４次地震被害想定）



※静岡県第４次地震被害想定レベル２東側ケース

●地震

発生頻度・規模によって２つのレベルの地震が想定されます。レベル２の地震は起こりうる最大クラスの地震を想定しているため、レベル１と比べて震度７の割合が高くなります。

区分	想定する地震	内容	地震の規模
レベル１の地震	東海地震 東海・東南海地震 東海・東南海・南海地震	発生頻度が比較的高く（約100～150年に１回）、発生すれば大きな被害をもたらす地震	マグニチュード8.0～8.7
レベル２の地震	南海トラフ巨大地震	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震	マグニチュード９程度

震度分布　レベル１（東海、東海・東南海、東海・東南海・南海地震）

震度分布　レベル２（南海トラフ巨大地震：東側ケース）

●地盤の液状化

地盤の液状化は、砂層が地震の強く激しい揺れにより液体状態になり、本来地盤が持っている強度が失われてしまう現象です。
市内では、河川に沿って広がる沖積平野の中の比較的地盤が軟弱な地域を中心に液状化が発生し、特に地下水位の高い川沿いの平野部ではその可能性が高くなります。

２０１６年２月作成